

本学の自己評価報告書第1集、第2章「教育理念・目標および将来構想」の理念・目標の項において、将来構想委員会は、本学の理念・目標に関する学部、大学院の学則のそれぞれ第1条が現状に則しておらず、全学的に本学の理念の再構築が求められていることに言及した。将来構想委員会では与えられたその課題に応えるべく、平成6年度の重要課題として積極的に取り組み、学科系の意見を吸収しつつ原案を作成した。それが、後記「小樽商科大学の使命と目的」として平成6年11月9日の教授会で審議され承認された。

将来構想委員会では、この原案作成にあたり、内容的には5項目を含むものとした。
すなわち、

1. 本学全体の使命と目的
2. 研究の理念と目的
3. 学部教育の理念
4. 大学院教育の理念
5. 学則上の表現

である。教授会では上記1～4までについて承認を得、学則については今後予定されている他の学則の変更に併せて整備し、その時に一括して教授会で審議することとした。

これらの理念を起草するに際し、将来構想委員会が力点をおいて審議した部分は、本学は将来如何なる大学であるべきか、どのような学生を育てるか、研究上の求心力をどこにおくか、の3点についてであった。理念である以上、勢い抽象的な表現にならざるを得ないが、本学を社会科学、言語科学の分野において国際的な研究拠点にすべきこと、研究上の求心力を設定すべきこと、国際化・情報化に対応した教育と、品格ある人材の育成を目指すこと、を可能な限り平易な文章で、具体的に記述することに努めた。特に、研究上の求心力をどこに求めるかについては種々議論のあったところであるが、「小樽学派」の表現を敢えて盛り込んだ。本学の研究上の特長を打ち出すことが今求められていると考えた結果であり、まさに「北に一星あり、小なれどもその輝光強し」の復権を目指すことを明記した。

理念が再構築されたことは、本学の将来に大きな意味を持つ。理念はただの言葉ではない。理念に従って将来のあるべき姿がどのようなステップで実現されるか、将来構想委員会はその過程を描く責務を担っている。それなくしては理念は理念たり得ない。この機会にそのことを再認識しておきたい。将来構想委員会はそのことを念頭におきつつ、本学の将来の基本計画立案に全力を挙げたい。

小樽商科大学の使命と目的

本学の前身である小樽高等商業学校、小樽経済専門学校は、我が国の商学・経済学等の研究に先駆的役割を果たした極めて優れた教官陣を擁し、学生の教育にあたっては専門教育のみならず語学・教養教育を徹底した少人数教育重視の方針により実施し、その結果実業界のみならず社会の各分野において活躍する個性豊かな多くの人材を輩出してきた。

小樽商科大学の使命は、その優れた伝統を継承しつつ、社会科学系国立大学として地域社会および国際社会の付託に応える教育・研究の拠点として存在し、現代社会の諸課題を積極的に担い、知的情報発信の中核として社会発展の先進的役割を果たすとともに、各分野において指導的役割を果たす品格ある人材の育成に貢献することにある。

研究面においては、本学はかつてのいわゆる「高商アカデミズム」の精神を継承し、さらに発展させ、広い視野に立って創造的かつ個性的な「小樽学派」とも言うべき学風を形成し、豊かな研究成果を生み出すことに努める。そのことを保障する人的・物的な研究環境の整備充実を図る。本学においては、社会科学系諸分野、言語科学およびそれらに関連する諸科学を主たる研究領域とし、大学として不可欠な基礎的研究、社会の発展に寄与する応用的研究を行なう。また、それら双方の研究者による総合的学際的研究を促進させ、それらの成果を教育に反映させるとともに、地域社会の活性化に還元させる。

学部教育においては、深い専門的知識を身につけ、同時に広い視野をもち、己の歴史観を養い、豊かな教養と倫理観に基づく識見と行動力を培い、現代社会の複合的、国際的な問題の解決に貢献し、社会の各分野において指導的役割を果たすことのできる品格ある人材の育成を図る。

そのために、4年間一貫しての充実したカリキュラムによる教育体制の確立と、より徹底した少人数教育の実現に努める。また、社会の要請に応え、社会人教育の一層の充実を図る。さらに国際化・情報化の加速的な進展に対応して国内外の大学等との交流を一層深め、学生の異文化理解と国際感覚およびコミュニケーション能力の涵養に努める。

大学院教育においては、従来の研究者養成の基礎としての役割にとどまらず、現代社会の諸分野において貢献しうる高度な専門的職業人の育成を図る。

そのために将来の博士課程設置を視野に入れつつ教育体制の一層の充実をめざす。また、国内外の大学・研究機関あるいは企業等との連携を強化して社会が必要とする学術研究の促進を図り、個性的かつ創造的な新たな大学院の実現に努める。